

# <集団的かつ持続可能な支援体制の構築に積極的に取り組む事例>

## ○山間部での集落営農の確立を目指して

### 1. 集落協定の概要

|                     |                                        |               |    |           |
|---------------------|----------------------------------------|---------------|----|-----------|
| とうはくぐんみささちよう　ひがしおしか |                                        |               |    |           |
| 市町村・協定名             | 鳥取県東伯郡三朝町　東小鹿                          |               |    |           |
| 協　定　面　積<br>21.9ha   | 田（100%）                                | 畑             | 草地 | 採草放牧地     |
|                     | 水稲                                     |               |    |           |
| 交　付　金　額<br>451万円    | 個人配分                                   |               |    | 30%       |
|                     | 共同取組活動<br>（70%）                        | 農業機械購入・格納庫整備費 |    | 44%       |
|                     |                                        | 水路・農道維持管理費    |    | 11%       |
|                     |                                        | 機器購入・各種修繕積立   |    | 9%        |
|                     |                                        | 運営費           |    | 6%        |
| 協定参加者               | 農業者36人、農業生産法人1（構成員5人）、農作業受託組織1（構成員36人） |               |    | 開始：平成12年度 |

### 2. 取組に至る経緯

当地域の水田は、川よりも高い位置にあり、また、山中に点在していることから、上流から長距離の水路を複数引くことによって水を確保している。このため水路の維持管理には多くの労力と時間を要する。また、基盤整備は行なわれているが棚田の形態のため、各水田の畦畔には大きな法面があるなど不利な耕作条件が重なっている。このため過疎化、高齢化の進行と相まって、荒廃農地が増加する傾向にあった。

現在地域に在る力で、先人達の努力が積み重ねられた農地を守り、地域文化の継承と地域で元気に暮らしていけることを目標に事業に取り組んでいる。

### 3. 取組の内容

集落の主な水路は4路線で延長は10kmを超えており、維持管理は各団地ごとの受益者のみで行っていた。農業者の減少により維持管理が難しくなったため、「水路改革委員会」で検討した結果、農家と非農家が協力し、集落全体で水路の維持管理を行うこととした。共同で維持管理をすることによって、自然災害などに対する危機管理の意識、地域の一員という認識が高まり、また、共同作業を通じて親睦が深まった。

農業機械（トラクター、田植機、コンバイン、乾燥機）、格納庫や作業場を共同で整備し、また、作業受託を行うことによって小規模農家の経費の軽減を図るとともに、作業の受託を行うことで農家の営農が継続し易い環境を整えている。

また、平成18年から集落の記念誌作成に取り組み、平成23年に発行することができた。編集を通じて地域の歴史や文化など地域の良さを知り、見直し、地域の誇りを共有することで、集落のまとまりに繋がっている。



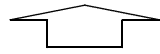
【村づくり対話集会】



【水稲の作業受託】

### [集落の将来像]

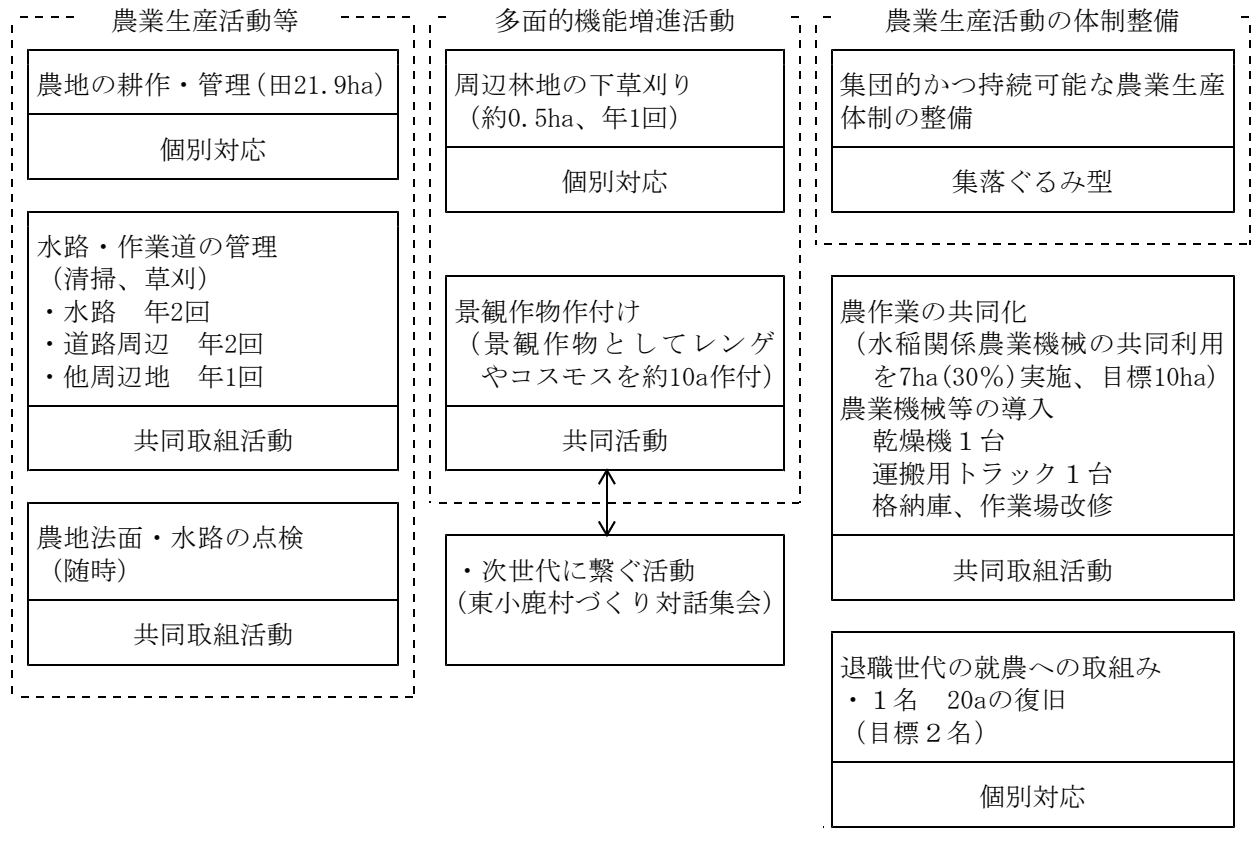
- 持続可能な村と農業
  - ① 共同購入による農作業の効率化、省力化対策の積極的な取り組み
  - ② 豊かで美しい自然、景観、文化を守る取り組み
  - ③ 世代の継続



### [将来像を実現するための活動目標]

- 水路・農道の共同維持管理、整備
- 健康で農業を続ける

### [活 動 内 容]



### 集落外との連携

- 耕作放棄地の現状把握

## 4. 今後の課題等

集落の維持と住みよい村づくりによる、担い手の確保と育成及び継承

### [第2期対策の主な成果]

- ・ 共同機械の取得 (トラクター、田植え機、コンバイン、乾燥機)
- ・ 草刈、清掃等の共同作業の拡大
- ・ 共同作業場の整備